

第 2 篇

船員の疾病、災害に関する調査研究報告

船員の職種別疾病、災害下船率について

目 次

まえがき	50
1. 結核について	51
2. 性病について	51
3. 腸管伝染病、その他の伝染病について	52
4. 新生物について	52
5. アレルギー性疾患、内分泌系の疾患、物質代謝、及び栄養の疾患について	52
6. 血液及び造血器の疾患について	53
7. 精神病、精神神経症及び人格異常について	53
8. 神經系、感覚器の疾患について	53
9. 循環器系の疾患について	54
10. 呼吸器系の疾患について	54
11. 消化器系の疾患について	54
12. 性尿器系の疾患について	55
13. 皮膚および疎性結合組織の疾患について	55
14. 骨および運動器の疾患について	55
15. 症状および診断名不適当の状態について	56
16. 災害について	56
17. 疾病災害率の順位	56

まえがき

1951年以來、傷病による下船船員について、統計を作成してきたが、この度は、船内における労働条件と、傷病の発生との関係を明かにする一つの手がかりとして、職種別に病類別に分析してみた。
調査対象は次の通りである。

調査の対象となつた会社	33 社
調査の対象となつた在籍船員	延 108,878 名
調査期間 6 年間	1951.1.～1956.12.31
疾 病 件 数	12,586 件
災 害 件 数	1,990 件

なお、ここで述べるのは、下船療養者についてであつて、船内治療で治癒した者については触れて

いないので、重症者についての実態と理解していただきたい。

1. 結核について

結核による6カ年間における年間平均下船者率は2.40%である。陸上における健康管理の行きどいた事業場では、1%以下であるのが普通とされているので、この比率はかなり高いと言わなければならない。

職員と部員とでは、ほとんど差がみとめられない。

職員の中では、事務部職員が特に高く、通信士、機関士、航海士の順序になつてている。各部とも、航生、機生、事務員等と一般に若い層が高率になっている。労働負担と、海上労働の慣れの問題と、健康検査の上に問題があるように考えられる。

また当直の関係をみると、二航、二機、二通等、深夜直がはっきりと高率になっている。労働負担の面から考えさせられる点である。

部員では、機関部と事務部とはほぼ同率であり、甲板部は各グループの中でもっとも低率である。甲板部員は、現在では船における第一の重筋労働者であるが、屋外労働が多いこと、夜間勤務が少ないとことなどのため、その勤務は健康的である。ただし、災害については、後で述べるようにもっとも高率である。機関部は、高温と騒音の環境が、健康に及ぼす影響が大きく、更に外気に浴する機会の少いことも、結核の感染発病を助長する原因となると考えられる。事務部員も決してその環境は健康的ではない。

甲板部員の中で、操舵手が特に高率となっている。これは、夜間当直に従事するため、その勤務方式は航海士のそれに近く、他の甲板部員とは異なるためである。

機関部員の中で、もっとも高率なのは操舵手である。これは労働負担の点で問題があるように考えられる。

部員の中では、司厨手員がもっとも高率であるが、長労働時間と拘束性の強さに問題があるように考えられる。

船員の結核罹病率も、年々減少の傾向を見せており、1951年における3.43%が、1956年には1.43%となり、1%以下に下るものも間近いことと思はれるが、陸上の事業場との間には、ある幅が残されている。これを克服するには、健康検査の徹底と、船内における労働と生活の条件の改善に一層の努力が必要である。

2. 性病について

船員の性病については、近年いちじるしく減少し、在籍船員の0.18%が下船療養している。職員と部員との比較では、職員の方がはるかに少い。職員の中では、数が少ないので、各職種別の比較は困難である。部員の中では、機関部がもっとも高率であり、事務部がこれに次ぎ、甲板部がもっとも

低率である。これをみると、労働条件との関連が考えられ、性病の予防の問題も労働条件の改善につながるものようである。

3. 腸管伝染病その他の伝染病について

在籍船員の約 0.31% がこれらの疾病のため下船している。その中赤痢が約 80% を占めている。文明国では赤痢はほとんど姿を消しつつあるが、船員の場合はかなりの比重を占めている。

職員と部員では、部員の方がやや高率である。職員の中では、航生、機生等に多いように見えるが人数が少ないので何とも言えない。部員の中では、機関員が特に高率である他は大きな差がみとめられない。機関員の高率なのは、高温作業による消化機能の低下と関連があるものと考えられる。

ビールスによる疾患は 0.17% である。その中主なものは伝染性肝炎で、約 80% を占めている。職員と部員とでは差がない。一般に若い層に多いようにみえるが、職種別には特に大きな差がみとめられない。

マラリアによる下船は 0.04% で、船員にとっては稀な病気となった。部員の方が職員よりもかなり多い。

寄生虫病では、0.12% でその主なものは鉤虫病である。部員の方が職員より多い。

4. 新生物について

新生物による年間下船療養者比率は 0.06% である。この中で癌は 0.03% に当る。消化器系のそれが 0.02% で、呼吸器系のそれが 0.01% である。消化器系の癌の中では胃癌がもっとも多く、職員の方が部員よりも高率である。呼吸器系の癌では、職員と部員とで差がみとめられない。

5. アレルギー性疾患、内分泌系の疾患、物質代謝、及び栄養の疾患について

これらの疾患のため 1 年間に下船療養する船員は 0.64% に達する。その大部分はビタミン欠乏症で 0.55% に当る。

ビタミン欠乏症はその大部分が脚氣である。脚氣は職員の 0.36% に対して、部員は 0.64% でかなりの差がみとめられる。職員では事務員がもっとも高率で、機関士、通信士がこれに次ぎ、航海士がもっとも低率である。職員では食欲との関係が大きいように考えられる。部員では機関部、特に機関員に高率で、事務部がこれに次ぎ、甲板部がもっとも低率である。事務部では調理手員に特に多い。すなわち、高温環境に働く者に多く発生していることがわかる。ビタミン B₁ の補給もこの点から考慮を払う必要がある。

アレルギー性疾患は、0.06% で喘息、蕁麻疹が主なものであるが、職員と部員とでは差がみとめられない。部員の中では、甲板部と機関部とでは差がないが、事務部には喘息の比率が高い。取り扱う食品との関係が考えられる。

甲状腺の疾患および糖尿病は、それぞれ 0.01% および 0.02% である。糖尿病においては高年令層に特に多いことがみとめられる。

6. 血液及び造血器の疾患について

ここでは貧血が主なもので、0.05% を示しているが、職種別には事務部員にやや多い他、あまりはっきりした傾向がみとめられない。

7. 精神病、精神神経症及び人格異常について

この種の疾病では、0.22% が年間に下船療養しているが、職員と部員とでは大差がない。中でもっとも多いのが精神神経症で、約 82% に当る。精神神経症では職員の方がやや多いようにみえるが大きな差はない。職員の中では、通信士がもっとも高率で、事務長員、機関士がこれに次いで同率であり、航海士のグループがもっとも低率である。部員では事務部がもっとも高率で、甲板部、機関部はほぼ同率である。焚炭船の多かった時代には、機関部員の精神神経症傾向はいちぢるしかったが、ディゼル化の進展に伴い、いちぢるしく改善されたことがうかがはれる。

精神病は 0.04% で職員と部員で差がない。職種別にははっきりした傾向はみとめられない。

8. 神経系、感覚器の疾患について

これらの疾患のため、年間下船する者は 0.94 % で、かなりの高率を示している。この中でもっと多いのは、神経及び末梢神経節の疾患で 0.50% に達する。

神経及び末梢神経節の疾患は、坐骨神経痛および詳細不明の神経病、神経炎が主なもので、職員よりも部員が多い。職員の場合には、職種別には差がみとめられないが、一般に高年令層に高率になっている。部員では職員ほどにはいちぢるしくはないが、やはりこの傾向がみられる。事務部にもっとも多く、機関部がこれに次ぎ、甲板部が少い。事務部の中、調理手員が 0.91% という高率を示しているのは、高温高湿環境と常に水を使う関係と考えられる。

中枢神経系の疾患は、0.05% で、職員と部員とでは大差がない。職種別には人数が少ないので、はっきりした傾向はつかめない。

眼の疾患は、0.19% で職員の方が部員よりやや多い傾向にある。職員の中では、航海士に特に多いのは見張作業の影響と考えられる。部員では、機関部に少く、甲板部、事務部ではほぼ同率である。

耳の疾患は、眼の疾患と同率の 0.19% であるが、部員は職員に比べてかなり高率である。職員では事務員がもっとも高率であり、通信士がこれに次ぎ、機関士、航海士は同率である。部員では、甲板部、機関部でほぼ同率であり、事務部はこれより少い。

9. 循環器系の疾患について

この種の疾患では、0.59% が年間に下船療養しているが、職員と部員では差がない。

その中もっとも多いのが静脈の疾患の 0.28% である。静脈の疾患の主なものは痔核である。職員と部員とでは大差がない。職員の中では、機関士がもっとも多く、事務員、航海士、通信士の順になっている。部員では、事務部がもっとも高率で、機関部、甲板部の順になっている。

心臓の疾患は 0.15% で、部員の方が職員よりやや高率になっている。職員の中では、機関士が特に高率で、高年令になるにしたがって高くなっている。高温環境の影響によるものと考えられる。部員では、事務部と機関部はほぼ同率で、甲板部はやや少い。事務部の中調理手員は 0.29% で特に高いのは、すでにしばしば述べたように、作業環境の影響と考えられる。

高血圧性疾患は、0.14% で職員の方が部員よりも多い。職員の中では、機関士がもっとも高率であり、航海士、通信士、事務員の順序である。各職種とも年令に比例して高率となっていることは、一般的の常識と一致している。部員では、事務部が特に高く、甲板部、機関部では差がみられない。ここでも、年令との関係がはっきりしている。全職種を通じて、司厨長がもっとも高率で 1.00% を示していることは特異である。

動脈の疾患は、0.01% であるが、職員にはきわめて稀である。

10. 呼吸器系の疾患について

呼吸器系の疾患は、1.00% でかなり高い比率を示している。

急性上気道感染は、0.20% で、職員よりも部員の方が高率である。職員では特に職種によって差がみとめられない。部員では、機関部がもっとも高く、事務部がややこれより低く、甲板部がもっとも低率である。これは高温環境との関係が考えられ、冬季、高温な作業環境から低温な外気への急激な変化の影響によるものであろう。

インフルエンザで下船療養しているものはきわめて少く、0.02% に過ぎない。

肺炎は 0.12% であるが、職種別には特にはっきりした傾向がみとめられない。

気管支炎は 0.28% で、調理手員に特に高い他は、特に職種による差がみとめられない。

慢性副鼻腔炎は 0.35% であるが、部員の方が職員よりかなり高率である。職員では職種による差がみとめられない。部員でも大きな差はないが、甲板部が他の部よりやや高率である点は、他の疾病の場合と異っている。

11. 消化器系の疾患について

消化器系の疾患による下船者率は 3.81% で、諸疾病中の最高率を占めている。したがって船員の疾病率を低下させるには、消化器系の疾患の対策が重要である。結核の罹患率は近年低下している

が、消化器系のそれは一向に減少する傾向がみられない。その原因が複雑で対策がきわめて困難であるからである。

消化器系の疾患の中で、比率がもっとも高く、問題が多いのは虫垂炎である。虫垂炎による下船者率は 1.16% で、職員よりも部員に多い。それぞれの職種については、特に差はみとめられない。もっともはっきりした傾向としては、若い層に多いことである。一般にも 20 才台にもっとも高率であると言われているが、船員の場合でも、職員では三航、三機、三通、事務員に多く、部員では甲板員、機関員、司厨員等の若い層に多発している。

口腔および食道の疾患は、その多くが歯の疾患であるが、0.35% で、職員と部員とで差はみとめられない。職員の中では職種による差はみられない。普員では甲板部と機関部とではほぼ同率であるが、事務部はこれらよりかなり高率である。司厨長、調理手が特に高率であることから、熱い食物の味をみるとことが、歯の疾患の多い原因と考えられる。

胃および十二指腸の疾患は 1.11% で、かなり高率である。この中で胃潰瘍がもっとも多く、全体の 42% を占めている。部員の方が職員よりやや高率である。職員の中では、事務員がもっとも多く、機関士、通信士、航海士の順序になっている。部員では、事務部にもっとも多く、機関部、甲板部の順序である。中でも調理手員、船匠に特に多いのは研究を要する点である。

その他の腸および腹膜の疾患は 0.79% になり、部員の方が職員よりやや高率である。ここでの傾向は、胃および十二指腸の疾患と大体同じである。

肝臓胆のうおよび脾臓の疾患は 0.42% で、部員の方がやや多い傾向がみられるが、その差は小さい。職員では職種で差がない。部員では機関部がもっとも高率で、事務部が、これに次ぎ甲板部がもっとも少い。

12. 性尿器系の疾患について

この疾患による下船者率は 0.30% で、職員と部員では差はみられない。職員の中では、機関士がもっとも高率である。部員では、事務部、機関部、甲板部の順序であるが、その差は少い。

13. 皮膚および疎性結合組織の疾患について

この疾患による年間下船者率は 0.24% である。部員は職員よりかなり多い。職員の中で、通信士に多い傾向がみられるのは何に原因するのであろうか。部員では、事務部、機関部、甲板部の順序である。

14. 骨および運動器の疾患について

この疾患による下船者は 0.30% である。部員の方が職員よりかなり高率である。職員の中では差がみとめられない。部員の中では、機関部にやや多く、甲板部と事務部とでは差がない。

15. 症状および診断名不適当の状態について

この状態については 0.15% であるが、特に述べることはない。

16. 災害について

災害による下船療養者率は、消化器系の疾患、結核について第三位を占め 1.83% に達する。職員と部員の比率は 1 対 3 で、他の疾病にはみられないいちぢるしい差を示している。

職員の中では、機関士の災害率がもっとも高く、航海士がこれに次ぎ、通信士、事務員はずっと低率である。それぞれの作業の危険度を示すものと言ってよいであろう。

部員の中では、甲板部の 3.01% が特に高く、機関部がこれに次ぎ、事務部はずっと低くなっている。甲板部の災害率の高いのは、荷役作業によるものである。

17. 疾病災害の順位

疾病率と災害率とについて、各職種グループの順位を記すと次の通りとなる。

順位	疾 病		災 害		全 傷 病
1	事務部員	13.71%	甲板部員	3.01%	機関部員 15.24%
2	機関部員	12.94	機関部員	2.30	事務部員 14.85
3	事務長員	10.80	機 関 士	1.20	甲板部員 13.77
4	甲板部員	10.76	事務部員	1.14	機 関 士 11.55
5	機 関 士	10.35	航 海 士	0.75	事務長員 11.01
6	通 信 士	9.99	通 信 士	0.28	通 信 士 10.27
7	航 海 士	9.25	事務長員	0.21	航 海 士 10.00

これを更にくわしく職種別に比較してみると次の通りとなる。

順 位	疾 病			災 害			全 傷 病		
	職 名	%		職 名	%		職 名	%	
1	調理手員	15.44	214	船 匠	4.04	1920	機 関 員	17.48	212
2	機 関 員	14.92	208	甲 板 手	3.78	1800	調理手員	17.01	206
3	司 虞 手 員	13.69	190	甲 板 員	3.48	1650	船 匠	16.62	201
4	船 匠	12.58	175	甲 板 長	3.45	1640	司 虞 手 員	14.62	177
5	操 術 手	12.43	173	機 関 員	2.56	1220	甲 板 員	14.31	173
6	事 務 員	11.69	163	操 機 長	2.53	1200	操 術 手	14.20	172
7	操 機 長	11.25	156	操 機 手	2.01	955	操 機 長	13.78	167
8	操 舵 手	11.08	154	操 舵 手	1.81	865	操 舵 手	12.89	156

9	甲板員	10.83	151	操 倉 手	1.77	845	操 機 手	12.62	153
10	操 機 手	10.61	147	機 庫 手	1.73	825	甲 板 長	12.60	153
11	二 通	10.44	145	調 理 手 員	1.57	750	甲 庫 手	12.55	152
12	二 機	10.42	145	二 機	1.51	720	二 機	11.93	144
13	二 航	9.79	136	一 機	1.49	710	事 務 長 員	11.01	134
14	三 機	9.66	134	三 機	1.04	495	一 機	10.83	132
15	機 長	9.62	133	一 航	0.97	460	三 機	10.70	130
16	司 庫 長	9.57	132	司 庫 手 員	0.93	440	二 航	10.66	129
17	事 務 長	9.47	131	二 航	0.87	415	司 庫 長	10.34	125
18	一 機	9.39	130	司 庫 長	0.77	365	通 信 士	10.27	124
19	三 通	9.33	129	三 航	0.66	315	機 閥 長	10.11	122
20	甲 板 長	9.15	127	機 長	0.49	235	一 航	9.35	113
21	甲 庫 手	8.77	122	船 長	0.32	150	三 航	9.23	112
22	三 航	8.57	119	通 信 士	0.28	135	機 庫 手	8.82	108
23	一 航	8.38	117	事 務 長 員	0.21	100	船 長	8.26	100
24	船 長	7.94	110						
25	通 長	7.45	104						
26	機 庫 手	7.19	100						
平 均		11.56		1.83		13.39			

これをみると、疾病、災害率とも職種によって大きな差があることがわかる。殊に災害率の差はいちぢるしい。

職種別、病類

A. 伝染病及

別 下 船 者 率 表
び 寄 生 虫 病 (1)

性												病		比	率	
020	021	023	024	025	026	027	028	029	030	031	032	036	037	039		
先 天 梅 毒	早 期 梅 毒	そ の 他 の 心 臓 血 管	脊 髓 瘫 痿	進 行 痱 痥	そ の 他 の 梅 毒 の 中 枢 神 経	そ の 他 の 晚 期 梅 毒	潜 伏 梅 毒	分 類 不 明 の 梅 毒	急 の 淋 疾 又 は 詳 細 不 明	性 菌 感 染 器 系 の 慢 性 淋 疾	關 節 の 淋 菌 感 染	軟 性 下 痘	風 径 リ ン バ 肉 芽 脿	そ の 他 及 び 詳 細 不 明 の 性 病	性 病 計	比
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4	0.16	
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0.04	
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	0.07	
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	7	0.06	
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	5	0.20	
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0.04
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0.03
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	7	0.06	
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	0.13	
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4	0.06
0	1	2	1	2	4	0	4	2	0	0	0	1	0	18	0.05	
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	1	4	0.16	
1	1	3	1	1	1	1	3	2	4	5	9	1	1	1	1	0.07
1	9	9	2	2	2	1	9	13	2	2	9	4	4	21	0.29	
3	2	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	22	0.15	
9	9	3	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	53	0.18	
3	2	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	6	0.24	
9	9	3	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	5	0.35	
3	2	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	18	0.26	
9	9	3	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	10	0.28	
3	2	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	45	0.29	
9	9	3	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	5	0.28	
3	2	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	0.14	
9	9	3	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	14	0.24	
3	2	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	21	0.27	
9	9	3	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	38	0.24	
3	2	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	7	0.23	
9	9	3	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	175	0.23	
3	2	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	7	0.18	
9	9	3	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	193	0.18	

A. 伝染病及

腸管伝染病、その他の細菌性疾患及びスピロヘータ病(梅毒を除く)														合計	比率				
職名	040	041	042	045	046	048	049	050	052	053	055	061	063	070	072	黄疸出血病性レプト	スピロヘータ病	合計	比率
船員	腸チフス	パラチフス	その他感染のサルモネ	細菌性赤痢	アメーバ症	詳細不明の赤痢	食物中毒	猩紅熱	丹毒	敗血症及び髄膜炎	ジフテリヤ	破傷風	ガス壊疽	ワニサン感染			57792	0.200.260.250.301.28	
船員	長航	航	航士生	計	長機	機士生	計	通	長通	通士	長	員	務	務	計	長手	手員	8654326098107	0.270.240.310.320.210.540.280.170.200.24
船員	三航	三航	三航	計	三機	三機	計	通三通	三通	計	事	事	務	務	計	手員	手員	1328101	0.200.130.350.260.09
船員	船員	船員	船員	船員	船員	船員	船員	船員	船員	船員	船員	船員	船員	船員	船員	船員	船員	8654326098107	0.250.270.180.290.420.340.120.210.180.230.520.360.090.300.30
船員	甲板	甲板	甲板	甲板	甲板	甲板	甲板	甲板	甲板	甲板	甲板	甲板	甲板	甲板	甲板	甲板	甲板	8654326098107	0.250.270.180.290.420.340.120.210.180.230.520.360.090.300.30
船員	操甲	操甲	操甲	操甲	操甲	操甲	操甲	操甲	操甲	操甲	操甲	操甲	操甲	操甲	操甲	操甲	操甲	8654326098107	0.250.270.180.290.420.340.120.210.180.230.520.360.090.300.30
船員	操機	操機	操機	操機	操機	操機	操機	操機	操機	操機	操機	操機	操機	操機	操機	操機	操機	8654326098107	0.250.270.180.290.420.340.120.210.180.230.520.360.090.300.30
船員	司理	司理	司理	司理	司理	司理	司理	司理	司理	司理	司理	司理	司理	司理	司理	司理	司理	8654326098107	0.250.270.180.290.420.340.120.210.180.230.520.360.090.300.30
船員	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	8654326098107	0.250.270.180.290.420.340.120.210.180.230.520.360.090.300.30
船員	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	43	0.27
船員	部員	部員	部員	部員	部員	部員	部員	部員	部員	部員	部員	部員	部員	部員	部員	部員	部員	248	0.33
船員	総計	総計	総計	総計	総計	総計	総計	総計	総計	総計	総計	総計	総計	総計	総計	総計	総計	334	0.31

び寄生虫病 (2)

ビールスによる疾患									マラリア				
	080	081	088	090	092	093	095	096	合計	比	合計	比	
急性灰白髓炎の後													
急性遺伝性灰白髓炎													
帯状疱疹													
デング熱													
伝染性肝炎													
腺													
トコトマ													
ビのルスによるその他の疾患													
三日熱マラリア													
熱帶性マラリア													
その他のマラリア及び詳細不明													
110													
112													
116													
合計													
率													
2516													
14													
25721													
17													
22													
4235													
0	0	0	0	40	0	13	2	55	0.16	0	1	4	0.01
312726								4	0.16	1	2	1	0.04
1			1	39		10		1	0.07	1	2	2	0.13
1	1	1	1	4444	1	51		3	0.18	1	1	2	0.12
1	1	1	1	35	1	2		13	0.15	1	1	2	0.04
1	1	1	1	45	1	8		29	0.20	1	1	4	0.03
512								50	0.17	2	1	11	0.05
17								1	0.04	2	2	2	0.08
1	1	1	1	101	1	22	0	10	0.07	1	2	2	0.14
1	1	1	1	141	1	35	2	40	0.14	1	1	4	0.11
1	1	1	1					57	0.26	1	1	7	0.05
								57	0.19	1	1	16	0.06
								7	0.12	2	2	2	0.03
								14	0.18	2	7	7	0.09
								21	0.13	3	1	36	0.05
								183	0.17	3	2	40	0.04

A. 伝染病及び寄生虫病(3)

職 名	その他の伝染病及び寄生虫病							A 合 計	比 率
	120 リーシュマニア病	127 糸状虫病	129 鉤虫病	130 詳細不明の蠕虫及び病	131 皮膚真菌病	135 疥癬	合 計		
船 一 三 航 航 計	長航 航 航 士 生	1 2	1	1	1	1 4	0.04 0.15	33 57 94 90 15 10	1.30 2.12 3.39 2.93 6.42
機 一 三 機 機 計	長機 機 機 士 生	1	1	1	2	7 1 4	0.06 0.08 0.04 0.12	299 48 79 102 101 14 9	2.68 1.96 3.11 3.58 3.00 4.84
通 三 通 計	長通 通 士	1	1	1	2	1 3 5	0.06 0.04 0.15 0.24	353 52 71 66 19	3.10 2.19 3.53 3.14
事 事 務 務 計	長員 員	1	1	1	2	1 5	0.14 0.32	208 51 100	3.21 3.31 4.41
船 職 員 計	医	1	1	2	2	1 5	0.13	151 26	3.97 2.44
甲 甲 船 操 甲 板 庫 計	長手 匠 手 員	1	2	13	7	4 1 1 2 5	0.08 0.20 0.07 0.18 0.06 0.08	1,037 59 34 51 297 399	3.06 2.39 2.29 2.98 3.32 2.78
操 機 操 機 操 機 計	長手 手 手 員	1	1	10	12	4 1 1 3 2 17	0.09 0.08 0.21 0.11 0.23 0.21	840 69 36 212 137 620	2.90 2.82 2.49 3.02 3.90 4.02
司 司 理 理 厨 厨 所 そ 計	長員 員 他	2 5 3	2	25	20	8 1 1 3 3 1	0.18 0.14 0.22 0.12	1,074 32 212 298 4	3.60 1.45 3.57 3.87 2.82
部 員 計		0	0	45	38	20 2	0.16 0.14	546 2,460	3.42 3.29
總 計		1	2	58	45	24 3	0.12	3,497	3.22

B. 新 生 物 (1)

消化器及び腹膜の悪性新生物							呼吸器の悪性新生物, その他											
150	151	153	154	156	合	比	160	170	179	180	191	199	200	201	204	白病 血病及び無白血	合	比
食道の悪性新生物	胃の悪性新生物	大腸の悪性新生物	直腸の悪性新生物	肝臓の悪性新生物			鼻び生物	乳房の悪性新生物	腎臓の悪性新生物	その他の悪性新生物	その他の悪性新生物	その他の悪性新生物	リノバ肉腫及び細	ホジキン病		計	率	
					計	率	鼻び生物	乳房の悪性新生物	腎臓の悪性新生物	その他の悪性新生物	その他の悪性新生物	その他の悪性新生物	リノバ肉腫及び細	ホジキン病		計	率	
2							2	0.08										
2							2	0.02										
2							3	0.12										
1							1	0.04										
1							2	0.07										
1							1											
5	1			1			7	0.06										
	1			1			2	0.08										
1							1											
1	1			1			3	0.05										
0	8	2	0	2			12	0.04	0	1	0	1	1	0	0	0	3	0.01
	2						3	0.12										
2							2	0.12		1							1	0.06
							1	0.01									1	0.01
2	2			2			6	0.02	1		1	1					2	0.01
	1			1			2	0.08									1	0.01
2	1			1			2	0.14									4	0.01
	1			1			1	0.01										
4				1			5	0.02									2	0.01
	1			1			2	0.09									1	0.01
				1			1	0.01									1	0.01
1				2			3	0.02									1	0.01
2	7	0	2	3			14	0.02	1	0	1	0	0	1	1	1	2	0.01
2	15	2	2	5			26	0.02	1	1	1	1	1	1	1	1	10	0.01

B. 新 生 物 (2)

職 名	良 性 新 生 物						性 質 不 詳 の 新 生 物						B 合	比 率			
	210	211	219	222	225	228	合	比	230	236	238	239	合	比			
口性新生物及び咽頭の良	210	211	219	222	225	228	血管腫及びリンパ	合	比	消化器の性質不詳	皮膚性質及び筋骨の性質不詳	その他の新生器の性質不詳	明詳の他器の性質不詳	合	比	2	0.08
腔及び軟骨の良性								率					率		1	0.03	
その他の新生器の良															3	0.03	
その他の新生物系															6	0.24	
消化器の良															1	0.04	
長航航士生															2	0.07	
船二三航航計															1		
機一三機機計															10	0.09	
通三通計															5	0.21	
事務務計															1	0.05	
船															7	0.11	
職員計															1	0.04	
甲板庫操甲															1	0.03	
操機操機計															1	0.09	
司厨司理司厨															1	0.06	
その他															1	0.03	
計															14	0.05	
部員計	0	2	1	3	3	2			11	0.01	1	4			3	0.12	
総 計	1	3	1	4	4	3			16	0.01	2	5			4	0.03	
															2	0.03	
															2	0.03	
															4	0.03	
															4	0.03	
															15	0.05	
															3	0.14	
															1	0.02	
															6	0.03	
															10	0.06	
															39	0.05	
															61	0.06	

C. アレルギー性疾患・内分泌系の疾患・物質代謝及び栄養の疾患

D. 血液及び造血器の疾患

E. 精神病,

精 神 病		合 計		率		比
301	躁 5			1	0.04	
300	神 精 分 裂 病			1	0.01	
				1	0.12	
				1	0.04	
				1	0.04	
				5	0.04	
				2	0.10	
				2	0.10	
				4	0.06	
				1	0.04	
				1	0.03	
				1	0.09	
				12	0.04	
				2	0.12	
				7	0.08	
				2	0.01	
				11	0.04	
				1	0.04	
				1	0.01	
				2	0.06	
				8	0.05	
				12	0.04	
				2	0.03	
				4	0.05	
				6	0.04	
				28	0.04	
				41	0.04	
				37		

精神々経症及び人格異常

精神・神経症				アルコール中毒、その他				E合				比	
310	311	313	315	316	318	合	比	322	323	合	比	合	率
身ない 不安心 の記載の 反応	不安い ヒスの テリの 反応	強迫反応	循身神々 器系状症 をを伴う精 をを伴う精	消身化 体経症 をを伴う精 をを伴う精	神々経症 の及び他 の型不明 の混合精	合	比	アルコール中毒症	その他の薬品嗜癖	合	比	合	率
1	1	1	1	1	1	1	1	3	0.12	3	0.12	3	0.12
1	1	1	2	1	2	2	2	4	0.22	6	0.22	6	0.22
1	1	1	1	4	5	5	5	5	0.18	5	0.18	6	0.21
1	1	1	1	4	5	5	5	5	0.07	2	0.07	2	0.07
1	1	1	2	1	12	12	12	16	0.14	2	0.08	17	0.15
1	1	1	1	4	5	5	5	3	0.12	5	0.08	5	0.20
1	1	1	1	4	5	5	5	5	0.20	8	0.31	6	0.21
1	1	1	1	4	5	5	5	5	0.18	10	0.30	10	0.30
1	1	1	2	1	1	1	1	10	0.30	1	0.02	31	0.27
1	1	1	1	1	1	1	1	1	0.21	4	0.17	4	0.17
1	1	1	1	1	1	1	1	3	0.17	9	0.45	8	0.38
1	1	1	2	1	1	1	1	4	0.35	1	0.29	1	0.29
1	1	1	1	1	1	1	1	6	0.29	2	0.02	22	0.34
1	1	1	2	1	1	1	1	2	0.19	3	0.19	3	0.19
1	1	1	1	1	1	1	1	3	0.22	6	0.26	6	0.26
1	1	1	2	1	1	1	1	6	0.21	9	0.24	9	0.24
1	1	1	2	1	1	1	1	4	0.56	7	0.66	7	0.66
1	1	2	14	1	53	72	0.21	2	0	2	0.01	86	0.25
1	1	2	3	1	3	7	0.28	7	0.28	7	0.28	7	0.28
1	1	2	1	1	2	2	0.13	2	0.13	2	0.13	2	0.13
1	1	2	3	1	12	15	0.17	2	0.12	4	0.23	4	0.23
1	1	2	5	1	14	19	0.13	2	0.17	22	0.25	21	0.15
1	1	2	12	1	32	45	0.16	2	0.16	56	0.19	56	0.19
1	1	2	1	1	4	5	0.20	1	0.07	6	0.24	1	0.07
1	1	2	6	1	4	10	0.14	3	0.09	11	0.17	5	0.14
1	1	2	1	1	1	1	0.07	2	0.01	34	0.22	34	0.22
1	1	2	7	1	15	24	0.16	2	0.01	57	0.19	57	0.19
1	1	2	14	2	26	43	0.14	2	0.01	7	0.32	17	0.29
1	1	2	2	1	5	7	0.32	15	0.25	21	0.27	21	0.27
1	1	2	3	1	11	17	0.22	1	0.22	45	0.28	45	0.28
1	1	2	4	1	13	17	0.22	2	0	0	0.21	158	0.21
1	1	3	9	1	29	39	0.24	2	0	0	0.22	244	0.22
0	0	1	35	4	87	127	0.17	0	2	2	0	158	0.21
1	1	3	49	5	140	199	0.18	2	2	4	0	244	0.22

F. 神 経 系 感

職 名	中 枢 神 経 系 の 疾 患												合 計	比 率
	330	331	332	334	340	343	350	352	353	354	355	356		
蜘蛛網膜下出血														
脳栓症														
脳瘻栓症及び脳血														
長航航士生	2													
長機機士生														
長通通士														
長員														
機二三機機	2													
計	2													
通二三通	1													
事務														
船員														
甲板														
甲船操甲														
操機														
操機														
司理厨のそ														
計	1	2	1											
部員計	0	4	2	5	3	5	0							
總 計	1	9	2	6	4	6	1	2	9	5	3	1	51	0.05

覚 器 の 疾 患 (1)

F. 神經系感

職名	疾患										合計	比率	
	376	377	378	379	380	381	382	383	384	385	386	388	
炎症	376	377	378	379	380	381	382	383	384	385	386	388	合計
その他の眼の炎症													
視神経及び網膜の炎													
その他の衛葡萄膜の炎症													
船二三航航	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	7
機一二三機機	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	0.28
通二三通													0.34
事事													0.29
船													0.30
職員計	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	0.64
甲板庫	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	37
操甲	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	5	0.33
操機	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	0.33
司調	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	0.12
司理													0.07
司そ													0.12
部員計	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	137
総計	5	42	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	210

覚 器 の 疾 患 (2)

G. 循環器

系の疾患

動脈の疾患		静脈の疾患		その他		G合		比							
450	453	454	456	460	461	462	465	467	468	リバ管の疾患 その他の循環器系	合計	率	合計	率	
全身性動脈硬化症	末梢血管の疾患	動脈栓症	動脈塞栓症及び血栓症	その他他の動脈の疾患	合計	比	下肢の静脈瘤	その他の部位の静脈瘤	核	7 9 6 5 1	28	1	7 9 6 5 1	21 16 11 7 1	0.83 0.60 0.40 0.23 0.64
0	0	0	1	1	0	0.04	1	1	1	8 4 6 14 1	33	1	10 4 6 15 1	37 17 10 17 3	1.51 0.67 0.35 0.51
1	1	1	1	1	1	0.01	1	1	1	1 4 3 2	10	1	36 1 4 3 2	84 11 6 4 5	0.74 0.46 0.30 0.19
1	1	1	1	1	1	0.01	1	1	1	1 9 1 9	10	1	10 1 10	26 4 13	0.40 0.26 0.57
1	1	1	1	1	1	0.01	1	1	1	2 1 1 1	2	1	11 3 11 3	17 12	0.45 1.13
1	1	1	1	1	1	0.01	1	1	1	4 2 6 25 21	83	0	2 1 1 1 1	196	0.58
1	1	1	1	1	1	0.01	1	1	1	1 2 6 21 11	58	1	28 26 27 11	41 57	0.46 0.40
1	1	1	1	1	1	0.08	2	2	1	3 3 26 41	2	1	68 5 3 46	133 23 4 92	0.46 0.94 0.28 0.60
1	1	1	1	1	1	0.03	2	2	1	1 11 1 1	1	1	27 11 1 46	41 15 1 92	0.65 0.43 0.30 0.60
1	1	1	1	1	1	0.01	5	5	1	1 41 1 1	1	1	92 5 3 46	180 23 4 92	0.60 0.20 0.21 0.60
1	1	1	1	1	1	0.02	5	5	1	7 19 1 1	1	1	72 22 1 46	35 46 1 49	0.32 0.37 0.38 0.64
1	1	1	1	1	1	0.09	2	2	1	7 19 1 1	1	1	22 29 1 29	35 46 1 49	0.37 0.64 0.70 0.70
1	1	1	1	1	1	0.04	3	3	1	1 19 26 1	52	1	1 1 1	58	1.59
2	6	2	1	11	0.01	0	194	2	1	2	1	4	17	218	0.29
2	6	2	2	12	0.01	1	277	2	1	6	19	4	17	306	0.28
														640	0.59

H. 呼 吸 器

職 名	急性上気道感染										肺炎									
	インフルエンザ					491 大葉性肺炎					492 原発非定型肺炎					493 その他の肺炎及び詳細不明				
船員計	470	471	472	473	474	481	490	491	492	493	合	合	合	合	合	合	合	合	合	比
長航員生計	2241	1	1	1	1	1	1	322	12	21	19	4	322	12	912	13	811	21	633	0.24
機械員生計	222211	1	1	1	1	1	1	322	12	21	4	4	322	12	912	13	811	21	633	0.11
通事計	22211	1	1	1	1	1	1	554	12	11	17	4	554	12	132	2	11	23	556	0.18
船員計	1112	1	1	1	1	1	1	722	12	11	7	1	722	12	22	1	11	23	556	0.20
甲板員計	322111	1	1	1	1	1	1	554	12	11	45	3	554	12	18	1	11	23	556	0.15
操舵員計	22227	1	1	1	1	1	1	554	12	11	20	8	554	12	2	0.03	1	23	556	0.15
操機員計	223044	1	1	1	1	1	1	554	12	11	20	8	554	12	2	0.03	1	23	556	0.15
司理員計	198	1	1	1	1	1	1	554	12	11	17	3	554	12	18	1	11	23	556	0.15
その他計	18	1	1	1	1	1	1	221	12	11	41	3	221	12	12	1	11	23	556	0.15
部員計	89	6	9	62	8	174	18	48	11	0	174	18	48	11	0	21	80	127	35	0.11
総計	109	10	14	77	11	221	23	75	16	1	221	23	75	16	1	35	127	35	127	0.12

系の疾患(1)

500	501	502	合	比	慢 性 副 鼻 腺 炎, そ の 他								合	比	
					510	511	512	513	514	515	516	517			
急性気管支炎	性質不明の気管支炎	慢性気管支炎	合	率	扁桃ノイド肥大及びアデノイド	扁桃周囲膿瘍	慢性咽頭炎	慢性副鼻腔炎	鼻中隔彎曲症	鼻たんけ	鼻性喉頭炎	その他上気道の疾患	合	率	
2	1	1	3	0.12	1	2	2	2	4	1	1	5	5	0.20	
4	2	2	7	0.26	1	1	1	1	2	2	2	4	4	0.15	
1	4	4	6	0.22					2	2	2	12	12	0.43	
4	3	3	7	0.23		1	1	1	2	2	3	5	5	0.17	
1	3	3	4						2	3	3	3	3	1.92	
12	13	2	27	0.24		2	5	17	5	1	1	1	32	0.29	
2	1	3	6	0.24			1	2	2	1	1	1	1	0.04	
1	6	1	8	0.31			1	2	2	1	1	6	11	0.24	
6	4	10	10	0.35		1	1	1	4	1	1	7	11	0.39	
2	1	3	3	0.09								2	2	0.21	
11	15	5	31	0.27		1	1	4	12	6	2	1	27	0.24	
2	1	3	3	0.13			2	1	2	1	1	1	1	0.04	
4	2	2	7	0.35		1	3	1	2	1	1	8	8	0.40	
1	1	1	5	0.24					1	1	1	7	7	0.33	
7	7	2	16	0.25		4	2	5	4	2	1	1	18	0.28	
1	1	1	2	0.13			2	2	2	3	1		8	0.35	
3	6	1	9	0.40									8	0.21	
3	7	1	11	0.29		2	2	2	3	3	1				
1	1	3	5	0.47											
34	43	13	90	0.27		9	5	16	36	14	3	1	85	0.25	
3	2	1	4	0.16			1	1	2	1	1	1	4	0.16	
1	1	2	3	0.20			1	1	2	2	1	1	6	0.40	
12	17	3	32	0.36		3	1	4	13	7	1	1	28	0.31	
15	17	6	38	0.26		2	1	19	58	13	1	1	96	0.67	
32	36	12	80	0.28		5	4	26	76	21	1	2	136	0.47	
4	1	1	6	0.24								1	1	0.04	
1	1	2	2	0.14									12	0.17	
6	4	10	10	0.14		3	1	1	6	1			13	0.37	
3	5	2	10	0.28		1	2	15	46	8	2	3	76	0.49	
28	21	6	55	0.36		3	2	18	59	12	3	3	102	0.34	
42	32	9	83	0.28		7	3	1	1	1	1	1	1	1	0.05
1	1	2	2	0.09			1	1	9	1	1	1	14	0.24	
14	9	4	27	0.45		2	1	3	31	4	5	5	47	0.61	
15	7	3	25	0.32		7	2	3	31	4	6	6	2	385	0.35
1		1	1	0.71											
31	16	8	55	0.34		9	3	4	41	5	1	5	62	0.39	
105	84	29	218	0.29		21	10	48	176	38	1	1	300	0.40	
139	127	42	308	0.28		30	15	64	212	52	4	6	2	385	0.35

H. 呼 吸 器 系 の 疾 患 (2)

I. 消化器系の疾患 (1)

I. 消化器

職 名	虫垂炎										その他の腸及び腹膜の疾患										比 率	
	560	561	570	571	572	573	574	575	576	577	578	579	580	581	582	583	584	585	586	587		
急性虫垂炎	551	552	合 計	560	561	570	571	572	573	574	575	576	577	578	579	580	581	582	583	584	585	
性質不明の虫垂炎	550	551	その他 の記載のない 虫垂炎	閉腹腔 閉塞を伴う腹腔へ ルニア	560	561	570	571	572	573	574	575	576	577	578	579	580	581	582	583	584	585
船 一 三 航 航 生	4	5	1	10	0.39	2																0.87
	8	8	17	0.63																		0.71
	9	10	20	0.72																		0.58
	19	14	39	1.29	1																	0.43
	2	1	3																			0.64
	2	3	1	6	3.85																	
計	44	41	10	95	0.85	4																0.65
機 一 三 航 機 士 生	4	6	2	12	0.49	3																0.73
	8	9	4	21	0.83	1																0.71
	11	13	6	30	1.05																	0.63
	14	9	4	27	0.80																	0.71
	2	4	1	7																		0.54
計	41	44	18	103	0.90	4																0.74
通 一 三 通	4	5	3	9	0.38	1																0.46
	6	4	3	13	0.65	1																0.85
	11	8	3	22	1.05	4																0.76
計	22	21	7	50	0.77	6																0.77
事 務 事	9	4	2	15	0.97																	0.52
	12	10	1	23	1.01																	0.62
計	21	14	3	38	1.00																	0.58
医	2	8	1	11	1.03																	0.38
船 職員 員	130	128	39	297	0.88	14	0	10	64	23	0	53	8	20	2	39	233	0.69				
甲 板 庫	5	2	2	9	0.36																	0.32
甲 船 操 甲	2	5	3	10	0.67	2																0.47
	4	8	7	19	1.11																	0.99
	45	35	14	94	1.05	2																0.60
計	105	99	17	221	1.54	8																0.70
長 手 舵 手 員	161	149	43	353	1.22	12																0.65
操 機 操 機 手 員	10	5	3	18	0.73	1	1	1	5	4	20	14	18	4	17	1	24	187	0.65			
	3	2	2	7	0.48																	0.77
	31	28	3	62	0.88	1																0.28
	20	22	6	48	1.37	1																0.90
計	147	93	33	273	1.77	11	1	13	63	14	2	23	3	11	1	11	153	0.99				
長 手 手 員	211	150	47	408	1.37	14	3	22	108	34	4	41	6	17	5	29	283	0.95				
厨 手 員	48	21	7	76	1.28	9	2	3	21	11	1	6	1	3	1	10	12	0.54				
司 理 厨 手 員	63	40	13	116	1.51	5																0.70
他 そ の ぞ	計	111	66	23	200	1.25	15	2	9	46	20	2	15	1	13	3	26	152	0.94			
部 員 計	463	365	113	961	1.28	41	5	49	208	74	7	92	11	47	9	79	622	0.83				
総 計	613	493	152	1,258	1.16	55	5	59	272	97	7	145	19	67	11	118	855	0.79				

系の疾患(2)

肝臓、胆のう及び脾臓の疾患										I 合	比 率
580	581	582	583	584	585	586	587	合	計		
急性肝萎縮	肝硬	化膿性肝炎及び肝炎	その他他の肝臓の疾	胆石症	結胆管炎の記載のない	その他の胆囊及び	脾臓の疾患	合	計	率	率
及び悪性黄疸	硬変							計	率		
1	1	1	1	2	2	1	1	1	69	2.72	
2	2	1	4	1	1	2	1	9	3.09		
2	4	1	5	5	2	1	1	9	2.74		
			2					13	2.98		
									11		
1	10	3	16	5	6		1	1	11	7.05	
2	2	2	1	1	4		2	41	340	3.05	
2	3	2	3	1	2		2	12	76	3.10	
3	3	2	7					10	84	3.30	
			4	1	2			10	90	3.16	
					1			9	103	3.06	
								4	25		
									8	4.30	
12	4	16	2	9			2	45	386	3.39	
2	2	3	3	1	1			7	54	2.27	
3	2	1	1	1	1		1	6	64	3.18	
			1					8	67	3.19	
								4	19		
7	1	9	4	3			1	25	204	3.14	
1	2	3	3	1	2			5	56	3.63	
3	3	2	6		3			10	75	3.31	
2	1	2			1			15	131	3.44	
								6	49	4.60	
34	12	0	49	11	22		1	132	1,110	3.27	
1	1	2	2	1	1			5	47	1.90	
2	9	2	3	15	1	1		3	41	2.76	
20	3	22	22	5	7			7	83	4.86	
					10			35	318	3.55	
								60	534	3.72	
33	5	42	9	21				110	1,023	3.53	
1	3	4	1	5				11	92	3.75	
5	2	2	2	1				7	34	2.35	
4	2	7	2	3				22	264	3.75	
33	1	36	3	13				18	151	4.30	
46	6	58	9	25				86	747	4.84	
3	1	1	1					144	1,288	4.31	
10	2	8	8	2				6	62	2.81	
7	1	13	1	5				31	333	5.60	
								1	336	4.36	
								29	1	0.70	
20	4	2	22	9	7		2	66	732	4.58	
99	15	2	122	27	53	0	2	320	3,043	4.06	
133	27	2	171	38	75	1	5	452	4,153	3.81	

J. 性 尿 器

系 の 疾 患

男性器の疾患							J	比
					合	率	合	率
610	611	613	614	615	617	その疾患 その他の男性器 々器	計	率
前立腺肥大症	前立腺炎	陰囊水瘤	睪丸炎及び副睪丸	過長包皮及び包茎			計	率
1					1	0.04	5	0.20
					1	0.04	5	0.19
					1	0.03	4	0.14
1					1		2	0.07
2					2	0.04	19	0.17
					4		8	0.33
					1	0.07	4	0.16
					2		16	0.56
					1	0.54	11	0.33
					1		3	
					4	0.04	1	0.54
					1		43	0.38
					2	0.10	7	0.29
					1	0.05	3	0.15
					3		5	0.24
					2	0.05	3	
					1		18	0.28
					1	0.09	2	0.13
					2		9	0.40
					1	0.05	11	0.29
2	2	1	6	0	2	0.04	97	0.29
					13		5	0.20
							5	0.34
							4	0.23
							27	0.30
							39	0.27
							80	0.28
							6	0.24
							4	0.28
							15	0.21
							20	0.57
							50	0.32
							95	0.32
							7	0.32
							19	0.32
							29	0.38
0	3	4	16	2	3	0.02	55	0.34
2	5	5	22	2	5	0.04	230	0.31
					28	0.04		
					41	0.04	327	0.30

K. 皮膚及び疎性結合組織の疾患

		皮膚及び疎性結合組織の疾患																			
職 名	疗 及 び よ う	690	691	692	693	694	696	701	702	703	704	705	706	707	708	709	710	711	713	714	715
		手織炎 及び脚 炎を伴う 他の記載 の炎症及 びその他の 炎症の記載 及び足指 蜂窓	急性リンパ管炎 及び腫瘍 の炎症及 びその他の 炎症の記載 及び足指 蜂窓	湿疹 炎	傳染性いば 瘡	急性リンパ管炎 炎	湿疹 炎	天疱瘡 炎	紅斑 炎	皮膚炎 炎	その他の皮膚炎 炎	乾癬及び類似疾患 症	扁平苔癬 症	湿疹 炎	連症 癬症及びその関 連症	湿疹 炎	毛髪及び毛囊 炎	汗腺及び脂腺 炎	毛髪及び毛囊 炎	皮膚の慢性潰瘍 炎	皮膚の慢 性潰瘍 炎
船 一 二 三 航 航	長 航 航 航 士 生	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
計	長 機 機 士 生	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
機 一 二 三 機 機	長 通 通 士	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
通 三 三 通	長 員 務 務 計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
事 事 船	長 員 務 務 計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
甲 甲 船 操 甲	長 手 匠 手 員	3	1	8	0	1	0	10	0	7	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2
操 機 操 機	長 手 匠 手 員	1	1	2	2	1	1	2	1	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
司 調 司 そ の 計	長 手 匠 手 員	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
部 員 計	長 手 匠 手 員	12	23	45	2	2	1	41	1	10	5	7	1	1	1	1	1	1	1	1	1
総 計	長 手 匠 手 員	15	24	53	2	3	1	51	1	17	7	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

L. 骨及び運動器の疾患 (1)

K 合		関節炎及びリュウマチ										合		率	
比		727 マチ 詐細不明のリュウ					726 筋肉リュウマチ					計		率	
716 忠	その他の皮膚の疾	723 骨類似症	724 その他の関節炎の 特殊型	725 詳細不明の関節炎	726 筋肉リュウマチ	727 マチ 詐細不明のリュウ	726 筋肉リュウマチ	727 マチ 詐細不明のリュウ	726 筋肉リュウマチ	727 マチ 詐細不明のリュウ	726 筋肉リュウマチ	727 マチ 詐細不明のリュウ	726 筋肉リュウマチ	727 マチ 詐細不明のリュウ	
5 5 2 2	0.20 0.19 0.07 0.07				1 1 1 1		1 1 1 1		1 1 1 1		4 2 2 2	4 2 3 3	0.16 0.07 0.11 0.10		
2	1.28														
16 2 2 1 4 1 1	0.14 0.08 0.08 0.04 0.12 0.54 0.10				2 1 1 2	6 1 1 2	1 1 1 1	4 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	12 1 2 5 5 1	12 1 2 5 1 4	0.11 0.04 0.08 0.18 0.15		
11 5 5 2 1	0.10 0.21 0.25 0.10 0.13				3 2 1 1 1	3 2 1 1 1	2 1 1 1 1	5 1 1 1 1	1 1 1 1 1	1 1 1 1 1	14 5 1 4	14 5 1 4	0.12 0.21 0.05 0.19		
13 1 3 4 2	0.20 0.06 0.13 0.11 0.19				3 1 1 1 1	2 2 2 2 2	1 1 1 1 1	1 1 1 1 1	1 1 1 1 1	1 1 1 1 1	10 1 5 6 2	10 1 5 6 2	0.15 0.06 0.22 0.16 0.19		
0 9 5 2 20 32 2	46 0.36 0.34 0.12 0.22 0.22 68				7 2 2 1 1 4	3 2 2 1 1 4	13 2 1 4 5 12	7 1 1 5 7 14	7 1 1 5 7 1	12 5 4 2 8 31	2 7 5 6 25 25	44 7 5 6 25 25 68	44 7 5 6 25 25 0.13		
2 5 3 15 12 2 2	0.23 0.20 0.21 0.21 0.34 0.38 94				5 3 1 1 1 4 6	2 2 3 3 3 15 5	9 2 3 3 3 15 26	9 2 4 4 4 9 9	9 2 4 4 4 29 43	2 1 1 1 1 29 43	1 1 1 1 1 3 4	9 9 3 3 19 56 93	9 9 3 3 19 56 0.31		
3 18 31 52 214 4 260	0.14 0.30 0.40 0.33 0.29 0.24				3 2 1 1 15 13 22	2 1 1 1 45 45 58	12 6 1 1 30 30 37	8 7 7 7 90 90 102	8 7 7 7 90 90 102	7 1 1 1 11 11 11	4 4 2 2 202 202 246	4 4 2 2 202 202 0.22			

L. 骨 及 び 運 動 器 の 疾 患 (2)

M. 症状、老衰及び診断名不適当の状態

奇聖

症 状、老 衰 及 び 診 断 名 不 適 の 状 態										M 合	比		
780	781	782	783	784	785	786	787	788	789	790	795	死 因	比
神に詳する者の症狀(その一) 及び特殊感覚	同右(その二)	因不詳の症狀 心臓血管系に關する原 因不詳の症狀	原因不詳の症狀 呼吸器系に關する原 因不詳の症狀	腹部及び胃腸不 適の症狀	脳部及び背に關する 原因不詳の症狀	性尿器系に關する 原因不詳の症狀	筋肉及び骨に關する 原因不詳の症狀	全身症狀 その他原因不詳の 原因不詳の症狀	原因不詳の尿成分	神經過敏及び鈍弱	診断名不適並び に不明の病因及び 死因	計	合
2	2	1	1	1	3	4	3	1	1	1	4	0.16	0.16
4	4	2	2	1	10	1	2	—	—	1	20	0.18	0.18
5	5	2	2	1	2	5	—	—	—	1	4	0.16	0.16
1	1	1	1	1	3	8	—	—	—	1	13	0.12	0.12
1	1	1	1	1	1	1	—	—	—	1	1	0.04	0.04
2	2	1	1	1	1	1	—	—	—	1	1	0.15	0.15
1	1	1	1	1	1	1	—	—	—	1	1	0.05	0.05
2	2	1	1	1	1	1	—	—	—	1	1	0.11	0.11
1	1	1	1	1	1	1	—	—	—	1	1	0.18	0.18
1	1	1	1	1	1	1	—	—	—	1	1	0.01	0.01
5	5	2	2	6	1	22	2	0	2	0	44	0.13	0.13
1	1	1	1	1	1	1	—	—	—	1	1	0.04	0.04
2	2	1	1	1	1	1	—	—	—	1	1	0.13	0.13
1	1	1	1	1	1	1	—	—	—	1	1	0.12	0.12
2	2	1	1	5	2	18	1	1	3	1	25	0.17	0.17
1	1	1	1	4	4	1	—	—	—	1	35	0.12	0.12
1	1	1	1	1	1	1	—	—	—	1	6	0.24	0.24
1	1	1	1	1	1	1	—	—	—	1	10	0.14	0.14
1	1	1	1	1	1	1	—	—	—	1	1	0.20	0.20
2	2	1	1	1	1	1	—	—	—	1	35	0.23	0.23
1	1	1	1	1	1	1	—	—	—	1	1	0.19	0.19
1	1	1	1	1	1	1	—	—	—	1	3	0.14	0.14
1	1	1	1	1	1	1	—	—	—	1	1	0.20	0.20
1	1	1	1	1	1	1	—	—	—	1	1	0.10	0.10
5	5	2	2	7	—	4	—	1	3	2	23	0.14	0.14
9	9	1	1	22	3	46	2	4	16	2	116	0.15	0.15
14	14	3	3	28	4	68	4	4	18	3	160	0.15	0.15

不明 総合計

職名	合計	比率		比率		比率		在籍人員
		疾病	災害	合計	率	合計	率	
船員	242	0.07	201	7.94	8	0.32	209	8.26
二三航	244	0.14	225	8.38	26	0.97	251	9.35
三航	242	0.07	271	9.79	24	0.87	295	10.66
航生			259	8.57	20	0.66	279	9.23
計	88	0.07	48	4			52	
			29	18.59	2	1.28	31	19.87
			1,033	9.25	84	0.75	1,117	10.00
機械士生	11	0.04	236	9.62	12	0.49	248	10.11
機械士生	11	0.04	239	9.39	38	1.49	277	10.88
機械士生			297	10.42	43	1.51	340	11.93
計	22	0.02	325	9.66	35	1.04	360	10.70
			61	6			67	
			22	11.83	3	1.61	25	13.44
			1,180	10.35	137	1.20	1,317	11.55
通士	11	0.05	177	7.45	4	0.17	181	7.62
通士	11	0.05	210	10.44	8	0.40	218	10.84
通士			196	9.33	6	0.29	202	9.62
計	11	0.02	65				65	
事務員	11	0.02	648	9.99	18	0.28	666	10.27
事務員	11	0.02	146	9.47	5	0.32	151	9.79
事務員			265	11.69	3	0.13	268	11.82
計	11	0.02	411	10.80	8	0.21	419	11.01
船医	11	0.09	137	12.85	4	0.38	141	13.23
職員計	12	0.04	3,409	10.04	251	0.74	3,660	10.78
甲板員	14	0.06	226	9.15	85	3.45	311	12.60
甲板員	14	0.04	130	8.77	56	3.78	186	12.55
甲板員	14	0.06	215	12.58	69	4.04	284	16.62
甲板員	14	0.05	993	11.08	162	1.81	1,155	12.89
計	14	0.05	1,555	10.83	500	3.48	2,055	14.31
操機	6	0.09	3,119	10.76	872	3.01	3,991	13.77
操機	11	0.03	276	11.25	62	2.53	338	13.78
操機	12	0.08	104	7.19	25	1.73	129	8.92
操機	12	0.08	747	10.61	141	2.01	888	12.62
操機	19	0.06	436	12.43	62	1.77	498	14.20
計	19	0.06	2,303	14.92	395	2.56	2,698	17.48
司厨	22	0.09	3,866	12.94	685	2.30	4,551	15.24
司厨	24	0.07	211	9.57	17	0.77	228	10.34
司厨	28	0.10	918	15.44	93	1.57	1,011	17.01
その他			1,055	13.69	72	0.93	1,127	14.62
計	14	0.09	8	5.63			8	5.63
部員計	47	0.06	2,192	13.71	182	1.14	2,374	14.85
総計	59	0.05	9,177	12.25	1,739	2.32	10,916	14.57
			12,586	11.56	1,990	1.83	14,576	13.39
								108,878